

子ども読書活動推進のための取組事例

1 特色のある取組事例

【ぬいぐるみ図書館おとまり会】（砥部町立図書館）

内容・特色・工夫等
愛媛県内初のイベントとして子ども達のお気に入りのぬいぐるみと一緒におはなし会に参加したあと、ぬいぐるみを図書館に宿泊させる。泊まったぬいぐるみたちが、閉館後の図書館を探検。その様子を写真に撮り、翌日お迎えにきた子どもにプレゼントする。その時に、ぬいぐるみが探検して見つけたお気に入りの本をお土産として用意し、子どもに借りてもらう。（対象者：未就学～小学2年生の児童とその保護者）

【おはなし会ボランティア講習会】（大洲市立図書館）

内容・特色・工夫等
市内で読み聞かせを実施しているボランティア団体のスキルアップを目指して、おはなし会ボランティア講習会を開催。 <ul style="list-style-type: none">・ 毎年スキルアップの対象をしぼり、それに沿った講師を依頼している。・ ボランティア相互の交流の場ともなるよう、受講者はグループ名と氏名を記入した名札を付けるようにしている。・ 講義方式ではなく、受講者も実演する場を設けたり、ワークショップを行ったりするなど、楽しみながらスキルアップをはかる参加型の講習会としている。 <平成23年度> <ul style="list-style-type: none">●ストーリーテリングについて●読み聞かせの方法や本の選び方、プログラムの立て方について <平成24年度> <ul style="list-style-type: none">●乳幼児や高齢者対象のおはなし会のすすめ方について <平成25年度> <ul style="list-style-type: none">●発音・発声法について●道具を使うおはなし会のすすめ方について

【堀江っ子読書週間】（松山市立堀江小学校）

内容・特色・工夫等
1 キッズホーリー 縦割り班の6年生が、下学年に読み聞かせをする。毎年下級生は楽しみにしており、普段あまり図書室に足を運ばない6年生にとってもよい機会となっている。
2 先生ホーリー 学級担任が、クラスの子に読み聞かせをする。学級の実態をよく知った先生が本を選んで感想交流をするため、様々な意見にふれることができる。

子ども読書活動推進のための取組事例

3 ママーズホーリー

読み聞かせボランティア「ママーズホーリー」による読み聞かせをする。大型絵本やパネルシアターなど、毎回、子どもたちの興味を引く方法で行っている。

4 読書パズル

本の表紙を100ピースに切り分ける。児童が本を返却するときに1ピースずつもらい、学年ごとの台紙に貼り、パズルを完成させる。図書室前に掲示しているため、子どもたちの目によくふれる。自分たちが頑張ったことが形として見えるため、下級生にとっては大変効果的である。

5 チャレンジ読書

読書期間中に、書名、一言感想、イラストなどの読書記録をとる。家庭で本を読むきっかけとなり、保護者からも好評である。その読書記録を学級で掲示したり紹介したりと、本の紹介にも役立てている。

【選書会】(松山市立潮見小学校)

内容・特色・工夫等

1 ねらい

たくさんの図書に触れることにより、読書生活を豊かにしていこうとする意欲を喚起するとともに、こどもたちが選んだ図書を図書館に入れることにより、より身近で、行きたくなる図書館を目指す。

2 日程

1校時・・・2年 2校時・・・1年 3校時・・・4年

4校時・・・3年 5校時・・・5年 6校時・・・6年

※ 各時間の最初にPTA読み聞かせボランティアが選書会にある図書の中から学年に応じた内容の図書を選んで読み聞かせをする。1単位時間の使い方は学年に任せるが、子どもたちができるだけ多くの時間図書に触れられるようにする。

3 アンケート

一番気に入った図書の名前をアンケートに書く。どうしても決められない子には2枚目を渡す。

4 アンケート結果をもとに、PTA予算で図書を購入する。

5 工夫・効果

- ・ PTA読み聞かせボランティアからの働きかけにより5月下旬に実施し、1学期内に購入・受け入れのうえ子どもたちに紹介し、夏休みの貸し出しに間に合うようにした。
- ・ 自分たちが選んだ図書なので、どの子どもたちも興味をもって手にしていた。夏休みの貸し出しでは、早いうちに全部の本が貸し出されていた。

子ども読書活動推進のための取組事例

【図書委員会による読書週間の取組】（松山市立河野小学校）

内容・特色・工夫等
<p>1 図書クイズ</p> <p>図書委員会が、上学年用のクイズと下学年用のクイズを作り、図書室に掲示し、全問正解した児童には、図書委員手作りのしおりと賞状を送る。出題にあたっては、学校図書館にある本で分野が偏らないようにしている。</p>
<p>2 読書郵便</p> <p>校内に読書郵便ポストとはがき置き場を設置し、自分のお気に入りの本を紹介する手紙を書き、宛名の友達に送る活動を行う。全校児童は、はがき置き場から自由にはがきを取ることができるようにする。期間中に貸し出しに来た児童には、図書委員の手作りはがきを渡す。</p>
<p>3 読みきかせ</p> <p>期間中の昼休みに図書委員会がグループに分かれ読みきかせ会を開く。全校児童が自由に来られるよう多目的で実施する。図書委員の児童たちは、本を選んだり読む練習をしたりして、聞きに来た児童を楽しませるよう工夫した。</p>

【ペア読書】（八幡浜市立川之石小学校）

内容・特色・工夫等
<p>異学年でペアをつくり、子ども同士で読み聞かせをする。読む側も相手のことを考えながら本を選んでおり、読んでもらう側もお兄さん・お姉さんに読んでもらうことを楽しみにしている。</p>

【心のお話プレゼント】（松山市立日浦中学校）

内容・特色・工夫等
<p>中学生が小学生に読み聞かせを行い、心の交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">中学生は小学生に読み聞かせを行うことにより、思いやりの心を育み、異年齢の児童に対する接し方を学ぶとともに、読解力や表現力の向上を図る。小学生は、中学生に対する親しみをもつとともに、中学生の思いやりやボランティアの心を感じ取る。また、表現力豊かな読み聞かせを落ち着いた雰囲気の中で聞くことにより、集中力を養うとともに、想像力や豊かな感受性を育てる。

【業者との連携による選書会】（鬼北町立日吉中学校）

内容・特色・工夫等
<p>業者の選書会プログラムを利用し、全校生徒に体育館で読みたい本を選ばせるとともに、</p>

子ども読書活動推進のための取組事例

読み聞かせや本の紹介、感想発表などを行う。

- ・ 約 900 冊の見本の本の中から、生徒が選んだ本をリストアップし、図書購入の際の参考資料とする。
- ・ 教職員の希望とあわせて購入手続きを行う。

[選書会の効果]

- ・ 生徒の本との出会いの場となった。
- ・ 生徒たち希望の購入図書のリストができ、購入の際の参考とすることができた。
- ・ 図書の購入の際には、別に用意した購入希望リスト(担当者)と生徒の読みたい本リストをあわせて検討し購入手続きをした。
- ・ リストアップの際に、実際に本を確認することができる。
- ・ 読書や本に興味のなかった生徒も興味をもち、読書活動への意欲化につながった。
- ・ 教師にも、図書室の運営と活用に興味をもってもらうことができた。
- ・ 新しい本が図書室に入ることを、生徒が楽しみにしてくれている。

【豊かな感性や情操を育み、思考を深める文化活動】(松山南高等学校)

内容・特色・工夫等

南高図書館は、「ライブラリー・ボンド〈絆〉プログラム～学校図書館がつなぐ絆づくり～」をテーマに運営し、学校図書館の四つの機能と役割である「読書センター」「学習・情報センター」「文化活動の拠点」「心の居場所」の充実を図り、知的好奇心を満たす場になることを目指している。

中でも、図書館が文化活動の拠点として様々な出会いを提案し、「人と本、人と人が出会う場所」になることで、生徒の読書への関心・意欲を高め、視野を広げ、将来について考える機会を創出できるよう、校内の意見調整を図りながら、図書委員による図書館イベントの実施や文化祭への参加などに取り組んでいる。(対象者：図書委員を中心に、ホームルームや部活動で関係する生徒・保護者・教職員(自由参加))

1 オーサービジットへの参加、オーサー来館(平成 24 年度)

作家に、自分たちの想いを言葉にのせて伝えることを目指した取組で平成 24 年度は、俳優の伊ッセー尾形氏の来館が実現した。「自分を表現すること」をテーマにしたワークショップを、図書委員と演劇部の生徒を対象に実施した。

2 自己と向き合い、進路実現への意欲を高めるための取組

(1) ライブリーディング(平成 23 年度)

キャリア教育の講師としても活動中の作家、伊藤史織氏を招き、南高を舞台にした物語(書き下ろし)の朗読会、図書委員によるブックトークの発表、作家と図書委員の対談を実施。

(2) バイオリン演奏とブックトークのコラボ(平成 22 年度)

バイオリニストの中西弾氏を招き、ミニコンサートと図書委員によるブックトークの共演、バイオリニストと図書委員の対談を実施。

子ども読書活動推進のための取組事例

3 ギャラリートーク（平成 21 年度）

地元で活躍する雑誌編集者の大木春菜氏、写真家のたかはしともこ氏を招き、ギャラリートークと「ことばカード」づくりのワークショップを図書委員と美術部の生徒を対象に実施。

4 「どくしょ甲子園」（読書会）への参加

グループ読書による仲間づくりと言語活動の充実、思考の深まりを目指す。平成 22 年度の第 1 回から、1・2 年生図書委員で参加。3 年連続で全国ベスト 15 位以内に入賞し、優秀作品集に掲載されている。

【図書館公演】（松山商業高等学校）

内容・特色・工夫等

本の世界を共に味わい視覚と聴覚で楽しむことを目的として文学作品に基づいた劇を中心に、劇・朗読劇・群読、朗読、読書に関する講演などを年 3 回実施。

1 劇・朗読劇・群読

クリスマスキャロル（ディケンズ）・サンタクロースっているんでしょうか？・ヴェニス商人・十二夜（シェークスピア）・ねこはしる・最後の授業（ドーデ）・耳なし芳一・大きな木・葉っぱのフレディ・きつねのおきやくさま・よだかの星 など

2 朗読

蜘蛛の糸・山月記・赤い繭・子ども哲学・教科書教材 など

3 講演

高校生と読書をテーマに毎年 7 月の公演に合わせて実施。

4 工夫

- ・ 図書委員会と演劇部が協力して実施。プログラムによっては吹奏楽部も協賛する。
- ・ 音響、照明、座席等を毎回工夫し、テーマに合わせて内部にギャラリーを設ける。
- ・ 外廊下壁面に看板やポスターを掲示する。
- ・ 事前に全校放送「本の世界に触れる」（月 1 回実施）でプログラムの一部を紹介するとともに、近隣校の図書委員会や演劇部に案内を出す。
- ・ 参加者名簿を作成し、参加者には感想を書いてもらう。
- ・ 本校図書館のテーマである「いい本が読みたい」（坂村真民詩）を最初に斉読する。

2 学校と公立図書館との連携取組事例

【学校図書館支援推事業】（新居浜市立図書館）

内容・特色・工夫等

子どもたちが学校図書館を活用し、自主的に調べものや読書ができるよう育成するために、平成 20 年度より市立図書館から学校図書館支援員を派遣し、学校図書館整備、学習支援、授業支援、読書支援、図書委員会支援などを行っている。

子ども読書活動推進のための取組事例

具体的には、授業関連の図書の団体貸出、ブックトーク、先生への資料提供、選書提案、分類講座など多岐に渡っている。

現在は6年目となるが、年々学校現場へ支援が浸透しているようで、24年度では、4名の支援員が各学校で計1,000回を超える授業支援を行っている。

支援依頼が増えて来たため、24年度からは小学校（16校）を重点に支援している。25年度からは2名の増員で6名体制となっている。（対象者：新居浜市立小中学校）

【学習目的図書の充実】（今治市立常盤小学校）

内容・特色・工夫等

学年ごとに団体貸し出しカードを作成し、今治市立中央図書館で借りている。学習内容に合わせて、学年ごとに借りたい本のジャンルを伝え、選書してもらう。

借りた本は、学年ごとの廊下に置いて、調べたり読んだりしやすいようにしている。児童同士が読んだ本の情報交換ができるよう、本の表紙（コピーしたもの）の周囲にシールを貼ったり、感想を書いた紙を貼ったりできる場所も作っている。

【ブックトーク】（砥部町立砥部小学校）

内容・特色・工夫等

各学年、年間1回、公立図書館の司書によるブックトークを実施している。ブックトークの内容は、「平和、福祉、環境、昔話、動物」など、それぞれの学年で、各教科の学習と関連付けたものを依頼し、学習の導入等で、児童の興味、関心を高めるために行っている。

【市立図書館の見学】（宇和島市立二名小学校）

内容・特色・工夫等

低学年が生活科で市立図書館の見学を行う。その際、施設や設備を案内してもらうだけでなく、読み聞かせや紙芝居等も実施してもらう。

【司書の派遣】（野村高等学校）

内容・特色・工夫等

総合的な学習の時間において、ブックトークや読み聞かせについてもっと知りたいという生徒を対象に、西予市民図書館野村分館に依頼して司書に来校してもらい、ブックトーク等について講義をしてもらう。

子ども読書活動推進のための取組事例

【団体貸出】（野村高等学校）

内容・特色・工夫等
愛媛県立図書館から、一般協力図書として300冊ほど借りている。Library News やHPで300冊全ての書名と著者名を紹介し、保護者も生徒を通して借りられるようにしている。

3 親子が共に取り組む事例

【家読（うちどく）の日】（新居浜市立浮島小学校）

内容・特色・工夫等
月2回（水曜日）を「家読（うちどく）の日」として家庭での読書を奨励している。家庭とも連携を図りながら、「家読（うちどく）の日」はテレビやゲームの時間を減らし、市立図書館（移動図書館）や学校図書館で借りた本などを読むようにしている。読んだ本については、読書カードに感想やページ数を記録している。学期末には、多読賞を設け、読書に励んだ児童を表彰することで意欲づけを行っている。

【参観日親子読書会】（久万高町立直瀬小学校）

内容・特色・工夫等
参観日に親子読書会を設定し、参観授業の後、親子で読み聞かせを楽しむ場を設けた。隣接する幼稚園でも同時に行った。読み聞かせには、町立図書館の親子読書講座プログラムを利用し、園児・児童が飽きないよう、エプロンシアター、絵本、大型絵本、パネルシアターを用いたものとした。 親子で読み聞かせを楽しむことで、読書に興味をもち、家庭で感想を話し合うよい機会となった。

【PTA活動部会による読み聞かせ】（学校名公表不可）

内容・特色・工夫等
低・中・高学年別に一つの教室に集まり、PTA学習支援部の保護者一人が、始業後10分間（読書タイムの時間）に、読み聞かせを行う。 保護者は、事前に学年担任と相談したり、自分で選んだりして、当日読み聞かせる本を1冊決める。保護者も、普段ない体験をすることで、読書への関心が高まり、家でも我が子に読み聞かせる機会をもったり、どんな本が子どもたちに人気があるのか、読み聞かせる価値が高い本か、考えたりすることができる。児童、保護者、教師の相互交流も深まる。